

覚書

宛先： 国際水泳連盟加盟国の皆様
差出人： 国際水泳連盟（ローザンヌ、スイス）
日付： 2010年5月20日
件名： ワールド・スイム・アゲinst・マラリア

皆様

「ワールド・スイム・アゲinst・マラリア 2010」を支援して欲しいとの依頼をスピード社（Speedo）より頂き、国際水泳連盟（FINA）は喜んで協力させて頂くことに致しました。これは、泳ぐことを通じて、マラリアと闘うための資金を集めるための世界的な取り組みです。目標は、**2010年6月25日**（又は同日前後）に世界中において100万人が泳ぐことです。

ワールド・スイム・アゲinst・マラリアは今回で3回目の開催となります。既に多くの人々がワールド・スイム・アゲinst・マラリアを通じて泳いでおり、水泳連盟、クラブ、学校、地域グループや主要な国際的企業が参加しています。

我々は、2005年に行われた第11回FINA世界水泳選手権大会モンテリオール2005の記者会見において、スピード社と共に、正式にワールド・スイム・アゲinst・マラリアへの支持を表明しました。

国際水泳連盟がこの取り組みを支援する理由は、何千もの命を救うことができるという人道的使命のために、世界中の水泳に携わる人々が非常にシンプルだが意義のある活動ができる、絶好の機会であるからです。

既に550万ドルの募金により、120万張りの蚊帳が配布され、主に子どもたちを含んだ250万人のマラリア感染を予防しています。これは6万人を死から救うことに役立てられ、素晴らしい成果をあげています。

皆さんにも、自国の水泳に携わる人々や団体に対して、この取り組みへの参加を呼びかけ、応援して頂ければ幸いです。

なぜマラリアなのか？

ご存知のように、マラリアは世界でも最大の命にかかわる病気の一つで、子どもの死亡の最大要因です。マラリア死亡者の70%は5歳未満の子どもたちであり、30秒毎に子ども1人が亡くなっています。それは、ジャンボ機7機分に相当する人数の子どもたちが、マラリアによってこの世からいなくなっていることを意味しています。

目的は、シンプルな方法で変化を起こすこと、つまり、泳ぐことで蚊帳を購入し、それを配布するための資金を集めることです。集められた募金は100%蚊帳の購入・配布に充てられます。

どのようにスイムを開催するか

様々な方法でスイムを開催することができます。それぞれの方法で参加を呼びかけ、参加者全員が楽しく、意義を感じられるようにしましょう。

ワールド・スイム・アゲinst・マラリア事務局は、貴連盟が参加者に対して呼びかけをするにあたって、貴連盟へのご協力を惜しみません。活動の例としては、

- 自国の水泳クラブに連絡し、参加を呼びかける
- ワールド・スイム・アゲinst・マラリアのロゴをあなたのウェブサイトに掲載する などです。

スピード社が3万5千の水着を寄付して下さっており、どなたでも泳ぐことと、ウェブサイトでの募金を通じて、それらの水着を入手することができます。

このキャンペーンについてさらに知りたいことがあれば、ウェブサイト

www.WorldSwimAgainstMalaria.com/speedo

を通じてワールド・スイム・アゲinst・マラリア事務局にご連絡頂くか、あるいはメールにて、

RMATHER@againstmalaria.com

宛にご連絡下さい。

水泳という取り組みを通じて、この活動が続けられていくのは大変喜ばしいことです。この取り組みは、世界中のスイマーのコミュニティーの強みや価値を伝えてくれると確信しています。皆さんも、国際水泳連盟と共にワールド・スイム・アゲinst・マラリアを支援し、世界中のあらゆる場所で、スイマーによる参加を促して頂けるようお願い申し上げます。

敬具

国際水泳連盟

会長 Dr. Julio C. Maglione